

ウクライナに平和を！

ウクライナは、東ヨーロッパに位置し、東はロシア連邦、北はベラルーシ、西はポーランド、スロバキア、ハンガリー、西南はルーマニア、モルドバと国境を接していて、南は黒海に面し、トルコなどと向かいあっている。首都はキーウ。大統領は親欧米のゼレンスキー氏。

この地域はソビエト連邦の一部であったが、ソビエト連邦の崩壊に伴い、1991年にウクライナは独立を果たした。独立後は中立国を宣言し、旧ソ連のロシアや他の独立国家共同体（CIS）諸国と限定的な軍事提携を結びつつ、1994年には北大西洋条約機構（NATO）とも平和のためのパートナーシップを結んだ。

その後、旧ソ連圏への影響力回復を目指すロシアのプーチン政権により、ウクライナ国内の親ロシア派を通じた内政干渉や領土蚕食を進められ、2014年にはロシアによるクリミアの併合が行われた。2021年からはロシアとの間でさらに緊張が高まり、ついに2022年2月24日、ロシアによるウクライナ侵攻が開始された。

この侵攻に対して、ウクライナは徹底抗戦の意思を示す反ロシア切手、世界各国からはウクライナを支援する切手が多数発行された。この作品はこれらの切手の紹介すると共に、ウクライナに平和が戻ることを願い、まとめた。



ウクライナ独立30周年記念（ウクライナ、2021年）



首都キーウ（ウクライナ）



ウクライナ国旗と国章（ウクライナ）



ゼレンスキー大統領（ウクライナ）

《 展示プラン 》

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. ロシアのウクライナ侵攻 | 2 ページ |
| 2. 「ロシアの軍艦、くたばれ」切手 | 3～9 ページ |
| 3. ウクライナの抗戦 | 10～13 ページ |
| 4. 各国から支援切手の発行 | 14～16 ページ |

1. ロシアのウクライナ侵攻

ロシアのプーチン政権による2014年のクリミアの併合に続き、2022年2月24日にはロシアによるウクライナ侵攻が開始された。



ロシアのウクライナ侵攻 記念カバー (フランス)



2018年3月7日、ロシアの大統領選が行われ、プーチン再選 (ロシア)

2. 『ロシアの軍艦、くたばれ』切手 — 第1弾 —

侵攻初日2月24日に、ロシア海軍により殺害されたウクライナの国境警備兵が、ロシアと最後に行った交信『ロシアの軍艦、くたばれ』が、ウクライナの愛国スローガンとして定着。3月上旬に同国郵政によりこれをテーマとした反ロシアの切手デザインコンテストが開催され、優勝となった作品を図案とした切手が4月12日に発行された。



『ロシアの軍艦、くたばれ』図案のポストカード



無額面F切手（国内郵便使用）

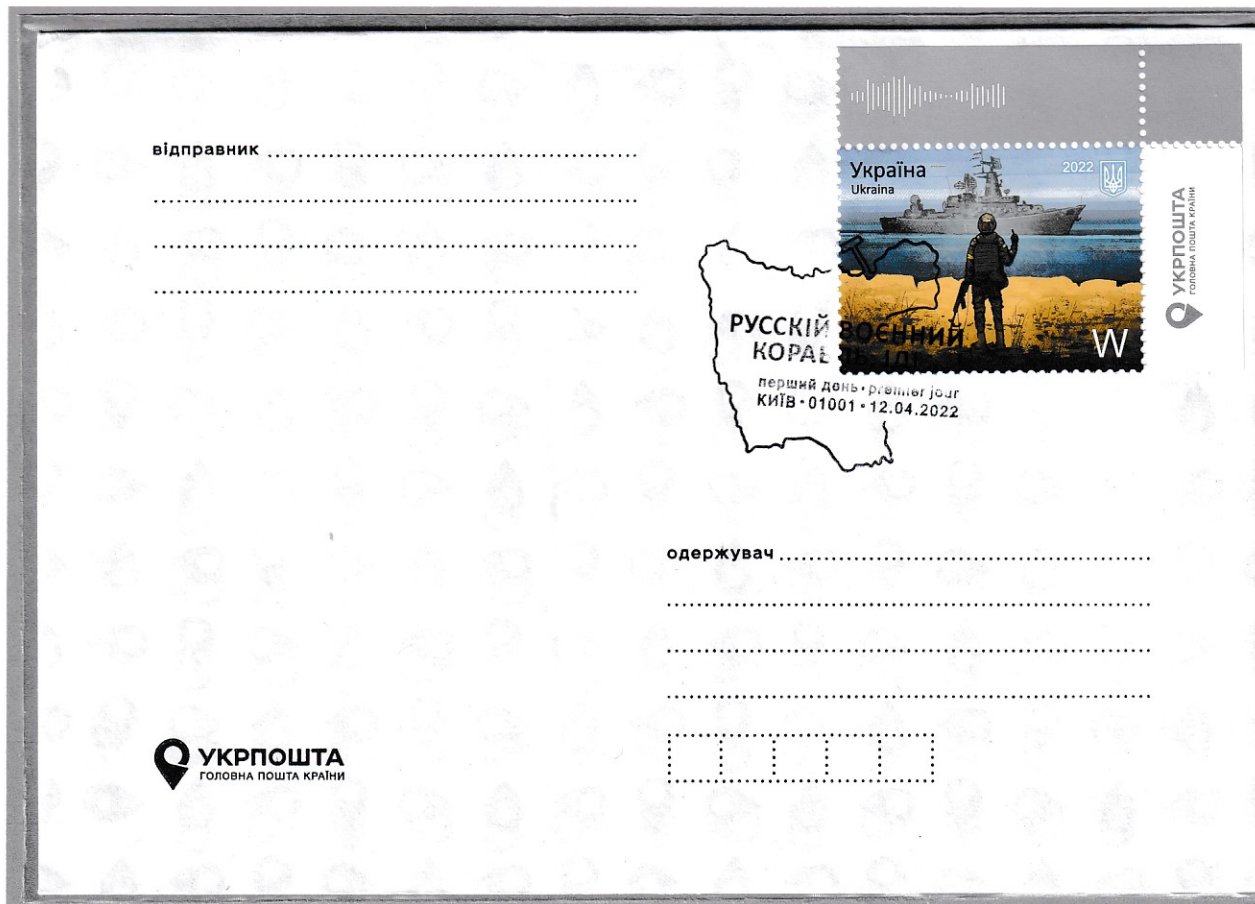


無額面W切手（国際郵便使用）

2. 『ロシアの軍艦、くたばれ』切手 — 第1弾 —



無額面F切手 初日カバー (2022年4月12日、セヴェロドネツク局 記念印)



無額面W切手 初日カバー (2022年4月12日、キーウ局 記念印)

2. 『ロシアの軍艦、くたばれ』切手 — 第2弾 撃沈 —

『ロシアの軍艦、くたばれ』切手を発行した2日後の4月14日に、ロシア艦隊「モスクワ」が沈没したことを受けて、5月23日には第2弾の切手が発行された。

第1弾のデザインを元に軍艦を消し、「モスクワ」が沈没した日付を入れ、タブに「DONE」(「撃沈」の意)のロゴを付けている。



無額面F切手 (国内郵便用)

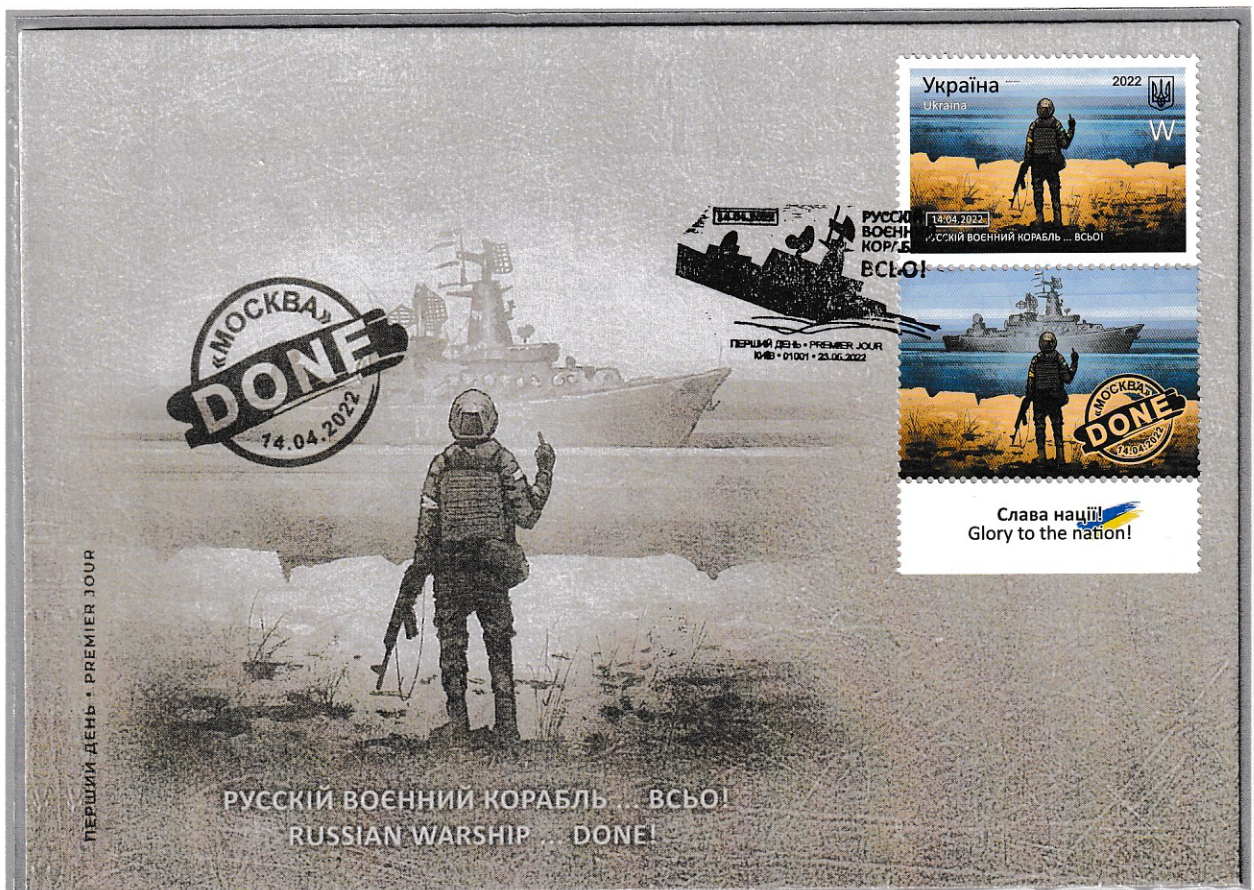


5 無額面F切手 初日実郵便 (2022年5月23日、ルーツク局 記念印)

2. 『ロシアの軍艦、くたばれ』切手 — 第2弾 撃沈 —



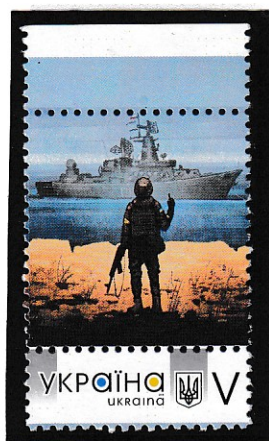
無額面W切手 (国際郵便用)



無額面W 記念カバー (2022年6月23日、非初日 記念印)

2. 『ロシアの軍艦、くたばれ』切手 — Pスタンプ —

ウクライナ郵政から発行された『ロシアの軍艦、くたばれ』切手の他に、同図案のPスタンプが3種類作成された。ウクライナ郵政の通販サイトで販売されているため、同郵政が作成されたものと思われる。



タイプA



タイプB



タイプC



Pスタンプ(タイプA) 記念カバー (2022年5月23日、ヴァイニツィア局 記念印)

2. 『ロシアの軍艦、くたばれ』切手 — シエラレオネ発行 —

ウクライナの『ロシアの軍艦、くたばれ』切手と同図案の切手が、6月23日にアフリカのシエラレオネから発行された。この切手は、デザインコンテストの優勝作品を紹介するという位置づけになっている。



← 発行された小型シート
3種類の1枚

初日カバー
(2022年6月23日 記念印)



2. 『ロシアの軍艦、くたばれ』切手 — トーゴ発行 —

ウクライナの『ロシアの軍艦、くたばれ』切手と同図案の切手が、9月1日にアフリカのトーゴからも発行された。「DONE」(撃沈)の文字は、トーゴの公用語であるフランス語の「COULE」になっている。



ロシア軍艦の撃沈前



ロシア軍艦の撃沈後

3. ウクライナの抗戦 — ウクライナの兵器 —

ウクライナのゼレンスキー大統領は、ロシアの侵攻に対して、あらゆる手段を用いて、抗戦した。欧米各国からはロケット砲や無人戦闘機などの兵器の支援を受け、NATO(北大西洋条約機構)の加入も表明した。



HIMARS(高機動ロケット砲システム)
アメリカから軍事支援で ウクライナに
供与 (ウクライナ)



ドローン「バイラクトルTB2」
リトアニア国民のウクライナへの寄付活動に
賛同したメーカーから無償供与 (リトアニア)



ウクライナ軍の兵器 (ウクライナ)

ウクライナによって発行された
「ウクライナ軍に栄光あれ！」切手
ウクライナの陸軍、空軍、空中機動軍、
特殊作戦軍、領土防衛隊を描く



NATO (アメリカ)

3. ウクライナの抗戦 — 世界各国に支援依頼 —

ゼレンスキー大統領は、世界各国の議会にオンラインのリモート演説により支援を訴えた。3月8日のイギリスを皮切りに、カナダ、アメリカ、ドイツ、イスラエル、そして3月23日には日本の国会に対して実施され、ニジュールから切手が発行された。

またウクライナからは、ロシア軍が放棄した戦車を牽引するウクライナのトラクターを描いた『こんばんは、私はウクライナ出身です』切手が発行された。



『こんばんは、私はウクライナ出身です』切手（ウクライナ）



3. ウクライナの抗戦 — クリミア大橋 爆破 —

10月8日、ウクライナとロシアを結ぶクリミア大橋の爆発があった。この橋はロシアにとってクリミア半島に物資を運ぶ重要な交通網であり、ロシアにとって大打撃となった。この爆発にウクライナの関与があったか不明であるが、同日にウクライナ郵政はクリミア大橋爆破の切手発行の発表を行い、11月4日に発行された。



クリミア大橋 爆破記念 (ウクライナ)



クリミア大橋 完成記念 (ロシア)

3. ウクライナの抗戦 — ロシアによるウクライナ東部、南部4州編入 —

9月30日、ロシアはウクライナ東部、南部のドネツク、ルガンスク、ザポリージャ、ヘルソン4州の併合宣言を行なった。この宣言に先立ち、ロシアはザポリージャ、ヘルソンの両州を独立国家として承認していた。

11月11日、ロシア軍はウクライナ軍の反撃により、占領下においていたヘルソンから完全撤退を発表。同日中にウクライナ軍が市内に入り、奪還を宣言した。そして12月9日には、ウクライナ郵政が『ヘルソンはウクライナだ』切手を発行し、全世界にヘルソン州がウクライナ領であることをアピールした。



ルガンスク州（ウクライナ）



ザポリージャ州（ウクライナ）



ヘルソン州（ウクライナ）



『ヘルソンはウクライナだ』（ウクライナ）

ヘルソン名産のスイカのデザイン。種の部分は爆弾。

赤い果肉の部分はヘルソン市民が被った悲惨な記憶が描かれている。

4. 各国から支援切手の発行 — ヨーロッパ各国 —

ロシアのウクライナ侵攻に伴って、ウクライナとの連帯を表明する切手が、ヨーロッパ各国を中心に世界各国で発行された。売上金の一部が支援金として寄付された切手もあった。



エストニア



ラトビア



リトアニア



モルドバ



ポーランド



クロアチア



スペイン



ポルトガル

4. 各国から支援切手の発行 — ヨーロッパ各国、カナダ、オーストラリア —

ウクライナとの連帯を表明する切手は、遠く離れたカナダ、オーストラリアでも発行された。



オランダ



ルクセンブルク



フランス



スロバキア



オーストラリア



カナダ

4. 各国から支援切手の発行 — アフリカ各国 —

ウクライナとの連帯を表明する切手は、アフリカ各国でも発行された。



中央アフリカ



シエラレオネ



ニジュール



リベリア



トーゴ



トーゴ